

吾國に於ける現在の社會狀態及び經濟狀態は全々行詰つてゐる。物價は益々騰貴すると共に、失業者は路傍に溢れてゐる。一々資本家は有らゆる手段を以つて、労働者の賃金の低下を計り、生産を緊縮せんとしてゐる。爲めに近來の労働者は増々窮乏して、生活向上の爲にする經濟闘争の狀態は漸時深刻白熱化せんとしてゐる。

此の形勢を看たる爲政者は、普通選挙を實施して、労働階級の生活苦より起る階級闘争の記録を緩和せんと計つてゐる。所謂、普選とは斯くの如く資本家階級が労働階級に對し經濟上に於ける實質の讓歩をする代りに、政治上に於ける形式上の發言權を與へんとする彼等の政策的奸手段である。乍併、政治上に於いて何等の根據を有せざる吾國の労働階級に取つては、斯くの如き普選に依つても得る所は多いのである。

即ち労働階級の政治的基礎權力の獲得、無産政黨の組織、労働階級の政治的自由等は其れである。殊に經濟運動を主とする労働組合の戦術に於いても從來の如き單なる經濟闘争のみでは、此の行詰つた我國の資本主義社會の現在では殆んど發展の餘地がない。此の時に當つて普通選挙の實施による労働階級の政治的進出は吾國の労働階級には最も必要である。

労働階級の運動は經濟的方面と政治的方面との両面の闘争を合せ得た時始めて達成し得る。乍併、普選が實施され、労働者の政黨が樹立されても吾々労働者に政治的自覺がなければ普選は吾々労働階級を押ししめる美名となり、資本家に搾取される一手段となるのである。

故に吾々労働者は、政治的知識に自覺して、來るべき普選を有効なる方法に依つて利用し吾々労働者を窮乏せしむる一切の不合理なる搾取を絶滅する手段としなければならぬ。是に吾々労働者の政治的自覺の必要が嚴存する。然るに吾々海員は職業上常に陸を離れて居り、亦、政治的組織を有せざるが爲め吾々海員の政治的覺醒の狀態は實に暗昧たるものである。

故に吾々は海上労働者の立場より、政治、社會の研究をして其の普及に勉め、社會の進歩に應じて労働階級向上運動の一端に資せんとするものである。

然るに資本家の搾取のみならず吾々海員の船内生活に於いては未だ一層横暴なる搾取手段が嚴存してゐるのである。即ち二割利子貸金制度に依れる水夫夫長の横暴が是である。

二割利子貸金制度とは水夫夫長が部下の水夫夫長に金を貸付け月々二割と云ふ利子を掠奪することを云ふ。船内の二割利子貸金制度は水夫夫長の雇傭が昔水夫夫長と有料紹介業者との掌中に握られてゐた當時の遺物である。

其の當時の海員が往時の雲助馬方と人格上變りがなかつた當時に於いて發生し妥當とせられた船員の船内に於ける金融制度であつた。此の制度は水夫夫長に罪惡を犯さしめ、善良なる海員をして賭博密輸入等の墮落と頹廢に導く最大の原因である。故に此の制度は海員の雇傭關係の變化したる亦船内諸制度の改正されたる現在に於いては徒らに海員を苦しめる搾取手段である事は極めて明かである。

亦、過去の水夫夫長と水夫夫長との間には言外の人情的美點が種々在つた。然るに社會の變化と共に兩者の關係は其等の美點を一掃し何等の縁故もない不人情な、金貸と借用人との關係に變化した。

是に於いて此の制度は當然廢止さるべきなるに、頑迷貪慾なる水夫夫長は有ゆる手段を以つて、今尙此の惡制度の維持を船内に於いて強制してゐる。最近に於いて此の不法なる搾取に追々自覺せる水夫夫長は一致協力して此の惡制度を打破すべく各船に於いて猛烈に運動を始めた。

此の虐げられたる水夫夫長の自覺に基く運動は必然的に船内諸種の惡習慣を一掃する性質を有つものである。此の現象に驚怖を有つたる水夫夫長は、資本家の援助を得て、水夫夫長の團結的勢力を以つて水夫夫長の自覺運動を抑へ付け、惡制度を持続すべく動き始めた。

即ち▲郵船會社水夫夫長の 郵船同志月々會
同 水夫夫長の 郵船連會
商船會社水夫夫長の 商船互友俱樂部

等は其の主なるものである。此等の會の眞の目的は資本家を擁護して其の援助の下に水夫夫長の團結的勢力を以つて水夫夫長の聲頭を抑へ、二割利付き、貸金を水夫夫長に強制的に貸付けて、横暴なる搾取を永久に維持せんとするものである。

現在の水夫夫長の大部分は實際、二割方少なく給料を貰つて居るに等しい。

(三)

今や彼等の團結的勢力よりなる露骨なる搾取手段は、海員の無智と、性格の弱點を利用して、法律を適用し、資本家と結託して、其の貸金手段に、取立方法に惡辣なる魔の手を延びて來たのである。

此に對する水夫夫長の怨訴の聲は轟々として高まつてゐる。吾々水夫夫長は今にして此の惡制度を撤廢し、彼等の横暴なる手段を打破するに非ざれば現在の惡手段は、次に習慣となつて残り、吾々水夫夫長を永久に水夫夫長の奴隸として引縛る鐵鎖となるものである。

若し此の惡制度が今後存続するならば、現在の進歩せる海員は再び過去の雲助生活に逆轉さるであらう。故に吾々水夫夫長は此の惡制度を撤廢するに就て、亦海員の政治的知識の普及に就いて、研究なし有効なる方法と斷乎たる組織的團結の力を以つて、其等の目的を貫徹せんが爲め是に水夫夫長のみを以て海員刷新會なる自衛的、研究會を設立したものである。

乍併、吾々は水夫夫長の爲め常に心を砕く信頼すべき水夫夫長をも知るものである。亦、此の制度を打破する事に依つて、其等の善良なる水夫夫長が、在來の收入が途絶えられた結果、諸種の惡習に悩みながら多くの家族を擁し直ちに困窮の底に落ちる水夫夫長を見殺しにせんとするものではない。

現在の狀態は水夫夫長の生活の窮乏を資本家に代つて水夫夫長が負擔してゐると同様で